

# 看護倫理学

必修

開講年次：2年次後期

科目区分：講義

単位：1単位

講義時間：15時間

■**科目のねらい**：看護職に必要な倫理に関する基本的な知識と倫理的意思決定を行うための枠組みを理解する。さらに、看護ケアを行うという状況の中で、自分の価値と他者の価値を吟味し、倫理的観点からその価値の意味を考察する。

- 到達目標**：①価値の特質が理解できる。  
②看護実践上の倫理的概念が理解できる。  
③看護における倫理的意思決定モデルの特徴が理解できる。  
④事例を基に、倫理的分析と倫理的意思決定が考察できる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎宮崎 みち子・古都 昌子

■**授業計画・内容**：

第1回	看護倫理とは	}	宮崎みち子
第2回	看護実践と倫理的概念		
第3回	事例検討(1)		
第4回	看護における倫理的意思決定		
第5回	事例検討(2)	}	古都昌子
第6回	看護倫理とインフォームドコンセント		
第7回	専門職と看護倫理		
第8回	事例検討(3)		

■**教科書**：日本看護協会監修「看護者の基本的責務一定義・概念／基本法・倫理」、日本看護協会出版会、2016年。  
授業時に資料を配布予定である。

■**参考文献**：サラ T. フライ他（片田範子他訳）「看護実践の倫理 倫理的意思決定のためのガイド」第3版、日本看護協会出版会、2010年。  
石井トク他編著「看護の倫理資料集 第2版」、丸善、2007年。  
ダニエルF.チャンプリス（浅野祐子訳）：「ケアの向こう側－看護職が直面する道徳的・倫理的矛盾」（日本看護協会出版会）2002年。  
吉川洋子他監修「学生のための患者さんの声に学ぶ看護倫理」日本看護協会出版会、2010年。

■**成績評価基準と方法**：

- ・授業への参加状況および定期試験による総合評価。
- ・単位修得には総合評価60点以上が必要となる。なお、出席時間が授業時間の2/3に満たない場合、成績評価の対象とはならない。

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合 (%)
	①	②	③	④		
定期試験	○	○	◎	◎	内容の理解	80
授業内レポート	◎	◎	○	○	自分の考えの記述	20
授業態度	○	○	○	○	欠席した場合は減点	

◎：より重視する ○：重視する

■**関連科目**：「哲学と倫理」、「生命科学」および「生命倫理」などの学修は、本科目の理解をより深めることにつながる。

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：私たちは日常、さまざまな倫理的課題に遭遇します。これらの課題について他者と話し合い、自分の考えをまとめましょう。そして、この成果を看護実践における倫理的意思決定に役立てましょう。授業は、事例検討を行いながら進める予定です。